平成25年度

みよし市体育祭

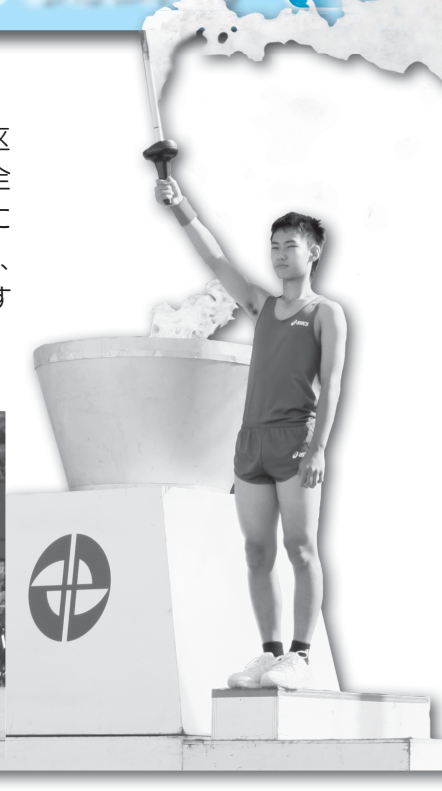
雲一つない秋晴れの下、絶好のスポーツ日和となった10月13日、三好公園陸上競技場でみよし市体育祭が開催されました。市内の24行政区からおよそ4,500人が参加し、地区対抗競技で優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

老若男女が一堂に会して走ったり、跳んだり、笑ったりと会場は大いに盛り上がりました。今回は「スポーツの秋」一色に染まった会場の様子を、写真を中心に紹介します。

開会式

選手宣誓

昨年度優勝した打越行政区を代表して増田哲弥（ますだ てつや）さんが「全力でスポーツをできることに感謝して、この大会を明るく、楽しく、記憶に残る大会にすることを誓います」と選手宣誓



北中学校吹奏楽部の皆さん

入場行進、開会式の音楽を北中学校吹奏楽部の皆さんが担当。息の合った透き通った音色で大会を盛り上げました

聖火点火

三好丘旭在住の山本裕真（やまもと ゆうま）さんが聖火ランナーを担当しました。グラウンドを一周し聖火台に点火。力強く燃える炎が、これから始まる体育祭に参加する選手たちを見守りました

準備体操

総合型地域スポーツクラブ「なかよしクラブ」の皆さんとスポーツ推進委員の指導の下、参加者全員で準備体操を実施。みよし市の友好都市のコロンバス市から教育親善大使として来日中のエミー・ウェゼラルドさんも参加して、気軽にできる運動で、緊張も筋肉もほぐし、これからの競技に備えました

健康体操

みよしピンコロ劇団の皆さんが元気あふれる体操を今年も披露。楽しく体を動かす皆さんに、会場は和やかな雰囲気に包まれました

Closse Up ～スポーツの秋満開！～

平成25年度 みよし市体育祭

④

②

①息を合わせて1・2、1・2、！
②久野市長の号砲で競技がスタートしました
③当日は、県立三好高校の生徒をはじめ、多くのボランティアの皆さんのご協力で運営されました
④一直線にゴールを目指します

③

デモンストレーション競技

15人16脚

体育祭の最初を飾るこの競技は、一人でも動きが揃わないと前に進みません。他のチームの動きが気になりますが、自分たちを信じて目の前のゴールへと突き進みます

①

子ども会演技

綱取り

綱取りは、状況に応じたチームプレーが勝負の鍵。一本でも多く綱を取ろうと子どもたちは、グラウンドを駆け回ります

▲両軍入り乱れての攻防。結果はいかに…

▼誰か助けに来て！

▲どんどん引っ張れ～

◀華麗なバトンさばきで観客を魅了

◀力強い演奏で会場を盛り上げます

小学生演技

毎回、華麗な演奏で観客を沸かせるこの演技。今年は南部小学校の金管バンド部とバトン部の皆さんが「夏色」と「Happiness（ハピネス）」の2曲を元気いっぱいに演技し、会場を盛り上げました

老人クラブ演技

大玉ころがし

この競技のポイントは、何と言ってもスタートダッシュとコーナーワーク。はつらつとした演技に、会場からは盛んに拍手が送られました

▲「ボール背かご入れ」。入りそうで入らないボールに悪戦苦闘

▲「ビン立て」。焦れば焦るほど上手にいきません

障害物リレー

さまざまな障害を、リレー形式で突破。コースを2週しゴールを目指します。この競技は、スピードやパワーよりも、失敗を恐れないチャレンジ精神と失敗をしても決して焦らない強い精神力が要求される競技です

▲「ボール背かご入れ」。ボールとの距離感をつかむのが難しいところ

▲「ムカデ競争」。さあ、呼吸を合わせて！

▲「フライングディスク」。狙いを定めて1回で…

▲「パン食い」。クルクル回るパンに悪戦苦闘

▲「ビン釣り」。慌てると糸がゆらゆら。
▼急いでいるのに…あぁ～！

▲「パン食い」は体育祭では欠かせない名物コーナー

Closse Up ～スポーツの秋満開！～

平成25年度 みよし市体育祭

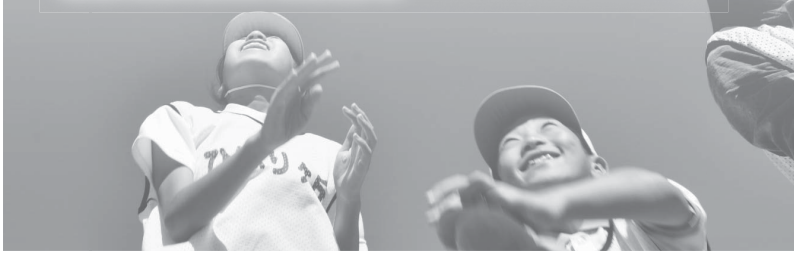
▲急いで玉を拾って。早く早く！

▼チームの勝利のため、みんなで
息を合わせて玉を投げます

▼焦るなというのが無理というもの。
とにかく冷静に1個1個に集中して

玉入れ

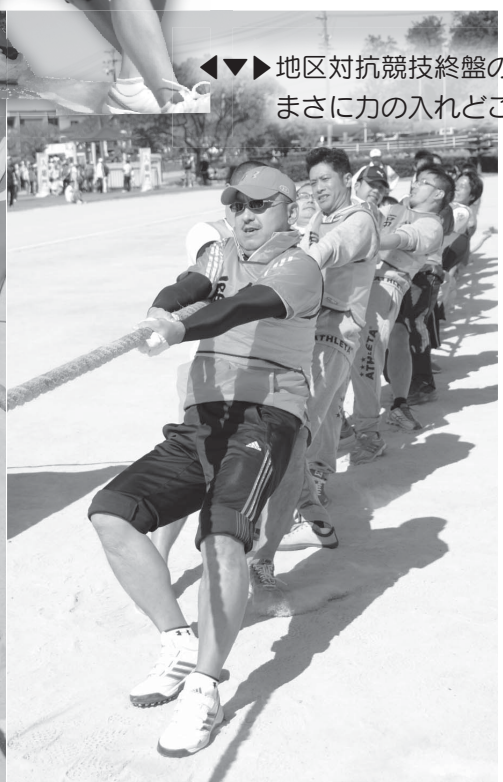
チームごとに作戦が異なるなど、競技の中でも奥が深い「玉入れ」。短時間にたくさんの玉を入れるために、選手の配置や玉の投げ方などを工夫して、チームの勝利のためさまざまな作戦を立て、決戦に臨みます。練習の成果は発揮できたかな



綱引き

力を出し切った後はチームみんなが思わず笑顔になってしまう綱引き。たとえこの日が初対面でも、この瞬間からはまさに「戦友」となれるのが綱引きの最大の魅力

◀▼▶地区対抗競技終盤の重要な競技。
まさに力の入れどころ



▲回し手と飛ぶ人の呼吸が合わないと上手く飛べません

大なわとび

50回以上跳ぶと最高8点を獲得することができ、最も高得点を狙える種目。競技も終盤を迎え、過去の結果を見ても「大なわとびを制するものが体育祭を制する」と言っても過言ではありません。それだけにどの行政区もしっかり練習をして挑みます

▲高得点を目指して、一つ一つの動きに集中します

▲みんなが飛びやすいように、回し手も必死に縄を回します

▲高得点には、高くジャンプし続ける持久力も重要な要素

▲長く飛び続けようと、お互いに声を掛け合います

競技結果

地区対抗競技の全てを終えた結果、昨年度の大会で2位の明知上行政区が、全種目において1位を獲得する驚異の強さで他の行政区を圧倒。

近年、激しく優勝を争う打越行政区を見事おさえ、2年ぶりに王座を奪還し、大いにスポーツで盛り上がった体育祭は幕を閉じました。

■平成25年度みよし市体育祭地区対抗競技成績表

順位	種目／地区名	障害物リレー	玉入れ	綱引き	大なわとび	年齢別リレー	合計得点
優勝	明知上	6	6	5	8	6	31
準優勝	打越	6	6	2	8	6	28
3位	明知下	5	6	5	2	6	24※
4位	西一色	6	5	5	3	5	24※
5位	福谷	5	6	4	4	5	24※
6位	三好下	6	4	3	4	6	23

※合計得点が同点のため、種目別で1位の獲得数、それでも同数の場合は2位の獲得数の多いチームを上位とする

Closse Up ～スポーツの秋満開！～

平成25年度 みよし市体育祭

▼リレー各組の優勝チーム

▲激しいポジション争い。お互いの意地がぶつかります

▲転んでもバトンだけは離しません

▲力走を続ける選手たちにテントからは、盛んに声援が送られました

年齢別リレー

地区対抗競技の最後を飾るのは体育祭の花形競技「年齢別リレー」。各行政区が誇る俊足たちが集結し、行政区の名誉と誇りを懸けてトラックを駆け抜けました

第5組　福田

第4組　明知下

第3組　明知上

第2組　三好下

第1組　打越

優勝 明知上行政区

区長　三浦（みうら）　和夫（かずお）　さん

全ての種目において、満点の完全優勝を飾ることができました。今年は、三好いいじゃんまつりでも準グランプリに輝き、体育祭でも総合優勝を飾ることができて大変うれしいです。これも区民の皆さん、行政区役員の皆さんが日々「優勝したい」という強い気持ちを持ちながら練習に励み、一人一人の力が結集したからこそ手にすることができた優勝だと思います。